

第2回 笠松町地方創生総合戦略審議会 議事概要

日 時	平成27年8月6日（木） 19:30～21:00				
場 所	笠松町役場 4階大会議室				
出席の委員	岩井会長 岩村副会長 奥田委員 葛谷委員 足立委員 岡田委員 岩田委員 森委員 樋口委員 久納委員 船橋委員 汲田委員 浅野委員 （以上13名）				
議事概要	① 会長あいさつ 昨今、地方創生という言葉がよく聞かれるようになった。本日は3点について皆さんに審議いただくが、総合戦略をいいものに仕上げるためにご協力をいただきたい。 ② 町長あいさつ 本日、県の市町村連携会議に出席し、県や国の動向の説明を受けてきた。総合戦略の交付金が交付されるかどうかにかかわらず、市町村は地方創生に取り組んでいかなければならない。市町村はできる範囲で事業を行ってきたが、そのうえで地方創生ということで新たな取り組みとなればなかなか難しいが、総合戦略を素晴らしいものにまとめていただけるようご協力をいただきたい。 ③ 審議（検討・質疑応答等） 【人口ビジョン（素案）について】 ○ 資料内の数値が、笠松町のものなのかどうか分かりづらい部分があるので修正してほしい。（性別・年齢別有配偶率の推移グラフについて）10年程度の比較では、大きな変化が分かりづらいので、極力長い期間で比較してほしい。 ○ 国や岐阜県が掲げる人口目標と出生率目標について、素案はほぼ同じレベルである。 ○ 笠松町の人口減少と現状維持または増加している岐南町と北方町などとの比較で人口増減の過去の趨勢をしっかりと分析しなくてはいけないのではないか。 ○ 住宅事情で転出する理由は何なのかを知りたい。 ○ 土地価格や住宅価格によって若い人の購入意欲が左右される。名古屋通勤圏であることが強みである。この特長を生かしていけば良いのではないかと。 <table border="1"> <tr> <td>協議結果</td><td>人口ビジョンについて（文言や分析内容についての一部修正はあるが）、数値的な目標等についてこの素案の内容で良しとする。</td></tr> </table> 【地方創生総合戦略骨子（案）について】 ○ 児童生徒アンケートで50%超が「歴史・文化・伝統」が自慢と答えている。笠松力検定の影響も大きいと思うが、魅力あるふる里への愛着を大事にしていきたい。 ○ 笠松町には、まちの駅、道徳、特区、サイクリングロードなど過去から色々すぐれた取り組みがある。それぞれをつなげ、ネットワーク化して新しいものを作り上げていかなければいけない。それが笠松らしさになっていくのではないかと。 ○ 笠松町と農業がイメージ的に結びつかないがどうか。定住と農業振興は相反するものではないかと。 ○ 市街化区域と市街化調整区域とで調整を図っている。水田があれば家屋浸水を防ぐことや温暖化防止にも効果があり、バランスのとれたまちになるのではないかと。 <table border="1"> <tr> <td>協議結果</td><td>委員の皆様の立場から盛り込むべき施策について各自検討する。</td></tr> </table>	協議結果	人口ビジョンについて（文言や分析内容についての一部修正はあるが）、数値的な目標等についてこの素案の内容で良しとする。	協議結果	委員の皆様の立場から盛り込むべき施策について各自検討する。
協議結果	人口ビジョンについて（文言や分析内容についての一部修正はあるが）、数値的な目標等についてこの素案の内容で良しとする。				
協議結果	委員の皆様の立場から盛り込むべき施策について各自検討する。				

〔地方創生先行型上乗せ交付金について〕

- 「自転車と共に活性化する街」という事業名は、もう少し夢のあるネーミングにかえてほしい。ARで情報を取得することはこれから主流になることであろうから、将来を見据えて事業を行っていくことは大切であり、交付金がなくても必要なことである。
- レンタサイクルのターゲットは誰なのか？
 - 電車で笠松町を訪れた方や町内の方も含め、全てのあらゆる年齢層がターゲットである。
- スピードを出して走る自転車に対する安全対策はしっかりしなくてはいけない。

協議結果

事務局案で交付金事業を進めていく。

